



みなと

みなと 36号 2012年4月1日

兵庫県声の図書赤十字奉仕団

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-4-5

日本赤十字社兵庫県支部内

TEL 078-241-9889 fax 078-241-6990

代表者 政 芙美子

編集者 松本 裕子

ひょうご安全の日推進事業「災害対応力を身につけよう！！」を開催しました

平成24年2月11日（祝・土）、篠山市立城南小学校において、ひょうご安全の日推進事業の一環として「災害対応力を身につけよう！！」を開催しました。今回で5回目を迎えるこのイベントは、「ひょうご安全の日」の趣旨（阪神淡路大震災の経験と教訓の継承）を踏まえ、防災、減災に寄与する一環として、地域赤十字奉仕団、日本赤十字社兵庫県支部防災ボランティア及び日本赤十字社兵庫県支部合同による総合防災訓練を目的に開催しています。また、あわせて広く県民に対し地域防災意識の高揚を図るとともに、赤十字の災害救援活動への理解を深めていただくことも大切な目的の一つとしています。

イベント当日は、前日降った雪が残っていたものの午前中は赤十字防災ボランティアの皆さんの総合訓練として、このたびの東日本大震災でも活用したエアータントやワンタッチテントを使っでの救護所設営訓練を実施しました。一方、三田市赤十字奉仕団、丹波市赤十字奉仕団、篠山市城南地区まちづくり協議会の皆さんには非常食の炊き出しと来場者への配布を担っていただきました。その他、特別奉仕団等による赤十字救急法などのミニ講習を行い、子供向けとして開催したゲームコーナーや紙飛行機作りコーナーでは子どもたちの笑顔があふれ、紙飛行機を作った子どもたちは、早速、紙飛行機を飛ばし、ぬかるんだグラウンドをものともせず走り回っていました。阪神・淡路大震災から17年が過ぎ、昨年は東日本大震災が発生。大変な被害がもたらされたことは記憶に新しいところです。

これらのことから、訓練に参加された皆様は、いつ起こるともしれない災害を意識し真剣なまなざしで訓練に取り組まれていました。

奉仕課



赤十字防災ボランティア総合訓練に参加して



8時30分に支部を出発し、10時頃篠山市立城南小学校に到着。二宮金次郎の銅像の立つ校門を入ると、先発隊が持ってきたテントや段ボウルや椅子やテーブルが、指定された場所に置かれている。それにしても澄み切った碧い空、夏を思わせるような白い雲、凜とした空気、そして一日中私達を悩ませたぬかるみの運動場。これからの訓練を思うと、身が引き締まる。午前中には、救護所等設営訓練があり、テント設営や炊き出し訓練、救護物資搬送及び配布訓練、無線通信訓練等が行われた。何度も参加されているボランティアさんのお蔭で作業の流れはスムーズで、休憩所に配置された私のグループは、時間を持て余し気味だった。事務局長の講評では、願わぬことではあるが、まさかの時に備えるためには、何度も訓練をして体に覚え込ますことしかないと言われ、納得。引き続き12時から一般の人も参加し、災害時に赤十字防災ボランティアがどんなことをするのか見てもらった。子供達が楽しめるように、チューブのようなバルーンを細工するバルーンアートや、輪投げ遊び、紙飛行機作りのコーナーもあった。

しかし何と言っても人気は、非常食や味噌汁の炊き出し試食で、休憩所もようやく賑やかになった。が、この頃になって日が陰ったり、雪が微かに舞ったりする。肩、腰、足の裏に貼ったカイロは快調で、私の身も心もホットなのだが、会場には子供の声はするものの活気がなく、私のテンションは一向に上がらない。天候を考慮しても来場者が少ない。近い将来、天災はかなり高い確率で起きると言われているにも拘らず、自分の住んでいるこの地域だけは…我が家だけは…まして今まで大した悪事を働いた覚えもない私だけは助かるだろうという考えが、どこか心の片隅にあって、3月11日の1ヶ月前という絶好のタイミングで開催されたのに、このような関心の薄さに繋がったのではないかと自身を顧みて思う。しかし私のようないい加減な者は、この際ハザードマップを頭に叩き込み、最近とみに美味しくなったと評判の防災食の缶詰めなどを備蓄していたら、寒い中、訓練に出かけることもないかっ！とも考えるのだ。いやはや。

3時を合図に、後片付けが粛々と進む。広げたテントや椅子やテーブルを元通りにしたあとは、運動場の整地とトイレ掃除を指示されたが、支部の温情で早々とボランティア達は帰りのバスに乗せられ、定刻の4時30分に支部に到着。訓練は無事終了。

後日、角谷課長に尋ねた。「私のような高齢者が、災害時に実際現地に行ってお役に立てるのですか?」「イエ、基本的にはこの支部の1階でする作業のお手伝いをして頂きます。」課長の目が笑っていた。そうかあ～私は朗読ボランティアだけでなく、防災ボランティアにもなれたんだと思う。結構新しい自分発見ができますよ。

青年 G 志智 公子

点字との出会いがあったから・・・ 点字班 活動のこれまでとこれから

リスナーの皆さんが点字を触読してくださる姿を思い浮かべながら点字器を使ってコツコツと、或いは点字プリンターを使ってカタカタと打ち出すと、真っ白な1枚の点字用紙に1行ずつ整然と点字が並びます。一マスがおよそ縦5ミリ横3ミリの小さな枠内で6つの点を組み合わせ、一マスや二マスまたは三マスを使って書くと、日本語も数字もアルファベットも記号も符号も、私たちが普段使っている活字の殆ど全てを点字で表示することができます。点字を日常の文字として使用している方にとって点字は本当に大切なものです。

現在使用している点字プリンターは、2005年に支部のかたと当時の声の図書奉仕団委員長で今は亡き大下さんとで相談され、声の図書奉仕団の活動の一環として設置を決めていただきました。この点字プリンターを有意義に使うことはとても大切なことでした。

先ず始めに、点字は点字器や点字タイプライターで、墨字は押印で作成していた花時計などの「テープケース用タイトル・発行月ラベル」を、パソコンのエクセルソフトと点訳ソフト、そして点字プリンターを使い、墨字と点字を1枚の点字用紙に併記して印字できるようにしました。墨字は、弱視のリスナーのかたにも見やすくと太字にしたことで、結果として水曜日のテープの受入作業担当のかたからも、墨字が見やすくなったと喜ばれました。印字した墨字つき点字は、ラベル1枚ごとに切り取りしやすいように罫線も入れました。当時の役員さんに、どうすれば点字も墨字も見やすくなるかをご相談し、一緒に考えていただけたことはありがたいことでした。

この「テープケース用タイトル・発行月ラベル」は、グループ内で作成されているところもあります。グループ内で作成できない時は、「声のアルバムCD ケース用発行月ラベル」及び「日赤兵庫声の図書タックシール」も含めて、必要な時に必要な枚数を点字班で準備できるようにしておりますのでどうぞご利用下さい。

(ラベルはタイトル別に各月に分けて黒色のファイルに入れ、ボランティアルーム北側ロッカーの上に置いてあります)

さらに、この点字プリンターが設置されたことにより、「録音図書目録」と「交流会プログラム」も、リスナーのご要望に応え点字でも作成。また神戸市発行の「子どもたちへのメッセージ集」の点字作成も可能になりました。（「子どもたちへのメッセージ集」とは、阪神淡路大震災を経験した大人から子どもたちへ、“命の尊さと震災の教訓を語り継ぐメッセージ”を神戸市が募集し冊子にまとめたものです。2005年に神戸市役所で開催されたメッセージ運動展に足を運んだ団員がたまたま目にしたメッセージ集。この冊子を読んだ団員の胸に芽生えた「このメッセージ集を日赤のリスナーにも読んでもらえたら・・・」という小さな思いがきっかけとなり、メッセージ集の音訳と点訳を神戸市から正式に依頼されるようになり、声の図書奉仕団の新たな活動の1つとなりました。

リスナーや団員の要望に少しずつ応える活動ができた陰には、当時の役員の方々の大きな支えがありました。2005年度は未だ点字班ができていなかったため、点字印刷や用紙を綴じて冊子にしてリスナー宛に発送するなど、必要な作業の全てについて、各グループに協力を

全てについて、各グループに協力を呼びかけて下さり実行できました。点字班活動の基盤を作っていただいた大切な時期であったと思います。

2006年度に点字班が正式に発足しました。現在、奉仕団8グループから1名以上のかたが、それぞれの所属グループの活動をしながら点字班の活動にも参加しています。役員会からは副委員長がお一人点字班に入り、支部との連絡を始めとして学校講習会における日程や講師・サポーターの人数の調整など、コーディネーターとしての役割を担って下さっています。役員会や運営委員会の場で報告をしていただくことで、団員の皆さまに点字班の活動内容を知っていただく機会があるのはとてもありがたいことです。

点字班発足と同時に学校点字講習会も本格的に始まりました。支部の全面的なご支援を受けながらの講習会では、参加の講師やサポーターは子どもたちとのふれあいを楽しみにしつつ、点字の基本をしっかりと伝えます。そして子どもたちに点字で自分の名前と生年月日を書いてもらう時には、「点字が視覚に障害のあるかたにとって大切な文字であること、それ故に1箇所でも点を書き間違えると意味が読み取れなくなること、点字は指先で触読するものなので一点一点、丸いふくらみのあるきれいな点を書くことが大切であること・・・」なども。

学校講習会の資料の1つとして、墨字つき点字の「贈る言葉」があります。これは、点字という文字に生まれて初めて触れる子どもたちのために、子どもたちにも理解できる“点字の基本の約束ごと”に則って作成したもので、講習会に参加する全ての子どもたちに毎回配布しています。（今は、この贈る言葉に替わる資料を皆で検討してみようという段階です）

支部の活動であるこの学校講習会は、私たち点字班員一人一人の学びの場ともなっています。子どもたちから、「いつか自分も点字のボランティアをしたいです」と書かれた感想文が届くと本当に嬉しく、少しでも点字でお役にたきたいと活動している私たちの励みにもなっています。

それぞれの学校から届けられた子どもたちからの感想文（点字、手引き、車椅子講習を受講して）は、ボランティアルームにまとめて置いてあります。一度是非お読み下さい。

「点字と墨字と折り紙つきメッセージカード」作りも2006年度から始まりました。神戸市主催の子どもたちへのメッセージ運動展にリスナーお二人をご案内した折り、会場に折り紙サークル紙ふうせんが作成した墨字だけのメッセージカードが置いてありました。カードに書いてあったメッセージをその場で点訳し、触読していただいたのがきっかけで、以後私たちがメッセージカードに墨字と点字を書くという形で参加協力し、紙ふうせんが折り紙とリボンをつけてカードを完成させるという現在の形が定着しました。この点字と墨字と折り紙つきメッセージカードは、点字をまだ知らない子どもにも大人にも手にとっていただける良い機会となっています。

カードに記載するメッセージは、子どもたちへのメッセージ集の中から選んでいます。読む人の心にストレートに響き、それに点字が添えられていることで、より多くの方が手にとって読んでくださっているとお聞きすると、やはり胸にジンとくるものがあります。メッセージカードは、今ではメッセージ運動展の時だけでなく、リスナーとの交流会や学校講習会などでもお渡しできるようになりました。

リスナーのかたから時々お聞きするのは、「耳に届く情報の中から、もう一度確かめたい内容や、かみしめて聴きたい言葉があるとき、点字でも読めたらどんなに良いだろうかと思う」という言葉です。私も心に残った詩やエッセー、小説などは手元に置いて何度も読み直ししたり、気に入った言葉をノートに書きとめたりします。でも、どのページのどの箇所に何が書いてあるかを知るのにそんなに時間はかかりません。リスナーのかたが点訳本を指先で1行ず

スナーのかたが点訳本を指先で1行ずつ触読しながらお気に入りの文字や文章を探したり、別の点字用紙に書きとめたりする姿や気持ちを想像すると胸がキュンとなる時があります。

リスナーや団員の小さな思いを何とか実現できないかしらと受け止め、実現への手立てを考えているうちに協力者が増えて少しずつ形になっていく時、皆で協力し合うことの大切さを実感します。点字への思いも考えも一人一人違うメンバーが、それぞれ所属グループ活動（近年は特にリスナーが切望されているデイジー制作など）が増えてきている中で、時間のやり繰りに工夫しながら点字班活動に参加しています。

これからも声の図書奉仕団の点字班として、目的に向かってできる時にできる人ができることをする、もちろんいざという時には全員で力を合わせて。そして誰が代表になってもどなたが点字班担当役員になられても、活動内容を検討し、継続するためにどのような工夫をすればよいかを皆で話しあっていくことができると願っております。

支部や声の図書奉仕団で揃えていただいた

点字用紙（普通紙・タックペーパー） 点字器（18行 12行 6行 4行） 点字プリンター 点訳ソフトインストール済みパソコン 点訳マニュアル関係（点訳の手引き、点訳便利帳、はじめての点訳、点字表記辞典など）があります。

リスナーのかたから寄付していただいた六点凸面打ちの点字タイプライターもあります。

学校講習会で使う資料は、点字班ロッカーの横にまとめて置いております。

点字班の活動日は、毎月第3火曜日 午前10時～午後15時

（第3火曜日が休日の時は概ね第4火曜日に変更）です。

これまでは

午前に 目的別の点訳と校正 点字印刷 資料作成（学校講習会用・班員用）など主に作業を

午後に 前半：ミーティング 後半：点字学習（議題によりミーティングだけの時もあった）などを行ってきました。

点字に関心のある方はどうぞ見学においで下さい。

点字マニュアルに沿って点字器で書いてみる 校正してみる

パソコンの点訳ソフトを使って入力してみる（入力方式はローマ字 カナ 六点 どれでも自由に選べます）

点字プリンターで印刷してみる 実際に印字した点字を読んでみる など

互いに教えたり教えられたりしながらの時間をご一緒に過ごしてみませんか。

2012年3月 点字班 福井 克子



デイジー班 23年度活動報告

デイジー班 例会は月 2 回(原則第 1、第 3 月曜日)

活動内容	活動日	回数(年)	参加人数(延)
午前：会議 午後：受入作業(名簿チェック、お便り整理・対応他)、その他作業(各図書、単行本、他)	第 1 or 第 2 月曜日 (例会日)	1 2	2 4 0
午前：「日赤声のアルバム」マザーCD作成 (DIメーカーにて全図書を 1 枚のCD(R)にまとめる→モニター、サブマザーCDも作成、後整理) 午後：発送作業(随時CD(RW)の完全消去、必要枚数コピー、モニター、名簿チェック→発送)	第 3 or 第 2 月曜日 (例会日)	1 2	2 4 0
単行図書デイジー化 (PC→テープ、テープ→PC) 月刊図書編集作業に準じる	適宜	適宜	2 0 0
サウンドエンジン、ラジオライン等 研修会	適宜	適宜	4 0
子どもたちへのメッセージ集 2 0 1 1	H.11.12 月	4	2 0
PHP 平成 24 年 2.3 月号デジタルマザー作成	H.24.1 月、2 月	8	3 0

(※数字は全て概算)

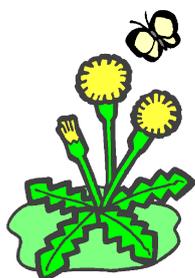
◎ 平成 23 年度の活動のまとめ

- H. 22.4～H.23.3 「日赤声のアルバム」マザーCD 1 2 枚作成
- H.22.1～H.22.12 各月刊図書 (あじさい・花時計・かざぐるま・PHP・やまなみ・雪)マザーCD 6 枚作成
- 子どもたちへのメッセージ集 2 0 1 1 … デジタル版で作成
- 登録リスナー数 … ‘12.3 月現在 1 6 5 名 (停止中、テープへ変更者を除く)
- デイジー版単行図書 … ‘12.3 月現在 9 1 冊
- 編集中デイジー版単行図書 … ‘12.3 月現在 1 1 冊

◎ 平成 24 年度活動計画

- 月刊・季刊図書「日赤声のアルバム」毎月発行
- デイジー版単行図書の発行、及び図書目録発行
- 単行図書PC直接録音作成、その後要望によりテープ版作成
- テープ版作成作業の一般団員への研修
- PC直録音・他機器でのデジタル録音の随時研修
- 各図書のマザーをテープからデイジーへ切り替え準備
- リスナー対象の再生機使用法等研修

直田 花子

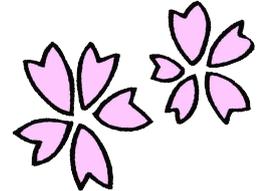


★単行図書検討会

平成 23 年度 単行図書の貸し出し状況をお知らせします。(H23 年 3 月 1 日～H24 年 2 月 29 日)

☆新刊登録は、20 冊です。

内訳は、
・リスナーさんのリクエスト本・・・13 冊
・自薦本・・・・・・・・・・・・・・・・・・4 冊
・推薦本・・・・・・・・・・・・・・・・・・3 冊



です。

☆貸し出しは、318 冊です。

内訳は、
・テープ図書・・・・・・・・・・・・・・167 冊
・デージー図書・・・・・・・・・・・・・・151 冊

です。

1 年間を通してみると テープ図書の方が多く貸し出されていますが、詳しくみると 8 月以降は、デージー図書が、テープ図書を上回りました。8 月から 2 月までに限ると デージー図書は 98 冊で、テープ図書は 72 冊です。はっきりとデージー図書への移行がわかります。

昨年度に比べると 100 冊程、貸出数が減っています。新たなリスナーさんを増やすことと、魅力ある図書作りが課題と思われま

なお、2 月に「デージー単行図書制作マニュアル」ができました。今後、単行図書を録音して下さる方は、このマニュアルに沿って直録音してください。

今年度もリスナーさんのご希望に添いながら単行図書の充実を図っていきたくと思います。

皆様のご協力をよろしくお願い致します。

ことばの花束 山田 嘉代子

★日赤声奉の朗読・音訳を見直す会

毎月第三水曜日 13:30 から開かれている朗読・音訳を見直す会では、各グループより参加メンバーを得て、声の図書奉仕団の図書が利用者にとってより良いものとなるように話し合っていますが、朗読の際に困ったことは何か、スムーズな録音ができるようにするために何が問題かなどの意見を述べ合っています。団員が共通理解できるようなガイドラインの作成なども検討しています。また、学習の場を提供して、レベルアップを図る勉強会を今年度は 2 回企画しましたが、皆様の学習意欲は大きく、いずれも 50 名を超える参加者でいっぱいです。

2 月の見直す会では、パソコン直録音による、デジタル版 PHP 作成第 1 回の視聴をパソコン・ブレストーク・テープの三種類で試聴しました。何れも音量等においてはレベルが一定していて聴きやすいと思いました。テーマソングなども代っていますので、是非皆さん一度試聴してください。今後は、編集を各グループで担当できるように習得してゆかねばならない課題が残されています。

見直す会で話し合われて、団員の皆様にお伝えしたいことは「見直す会だより」として順次お知らせしますので、参考にさせていただきようお願いいたします。

私も、途中から交代して参加いたしましたが、とても勉強になっています。グループで決めた方が、ご都合の悪いときは代わりあって出席していただき、グループの枠を超えたお付き合いの輪を広げてください。日赤声の図書奉仕団員としてよりよい活動ができると思います。

神戸 YWCA

片山 恵

日赤声奉 音訳・朗読を見直す会だより 第2号

2012・1・18

日赤声奉の朗読・音訳を見直す会では、今年も、朗読、音訳に必要なと思われることを、発信していきたいと思ひます。

第2回 数字の読み方

1. 現代の日常会話でふつうに使われている発音を尊重し、2通りの発音がある場合には、なるべく2通りの発音を認める。
 〈例〉14・・・ジュヨン（ジュンシ）
 2試合・・・ニシアイ（フタシアイ）
2. ニュースなどのように、得に正確な情報伝達を目的とした番組では、原則として聞きとりやすい発音を使う。
 〈例〉14・・・ジュヨン
 7億・・・ナナオク
3. 数字は原則として日本語読みにする。慣用の強いものを除いて、英語読みは使わない。
 〈例〉1ケース・・・イチケース（ワンケースは使わない）

4. 整数の読み方 基準となる発音

数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
発音	レイ	イチ	ニ	サン	ヨン (シ)	ゴ	ロク	ナナ (シチ)	ハチ	キュウ (ク)	ジュウ

(注1) [ヨン(シ)]は原則として[ヨン]と発音するが、[シ]と発音してもよいことを示す。
 [0]は[無い]ということ強調する場合、および固有の読みが決まっている場合は[ゼロ]と言ってもよい。〈例〉ゼロ歳児、死亡者ゼロの日、ゼロシーリング

(注2) 数字を続けて発音する場合は、[ニー][シー][ゴー][ク]と言っても差し支えない。
 〈例〉[イチ、ニー、サン、シー……]

5. 小数 各数字の発音は、[基準となる発音]に従う。
 ただし、[2]と[5]は、[ニー][ゴー]と伸ばして発音してもよい。
 〈例〉1.5[イチ・テン・ゴ] 2.7[ニー・テン・ナナ]3.56[サン・テン・ゴーロク]
6. 分数 各数字の発音は、[基準となる発音]に従う。
 〈例〉 $\frac{2}{3}$ [サンブン・ノ・ニ] $2\frac{3}{4}$ [ニ・ト・ヨンブン・ノ・サン]
7. 電話番号 ノを入れずに、はっきり区切る。
 〈例〉(050-3460-6068) [レイゴーレイ・サンヨンロクレイ・ロクレイロクハチ]
8. 郵便番号 ノを入れる。
 〈例〉(〒651-0073) [ロクゴーイチ・ノ・レイレイナナサン]

リスナーお便りコーナー

松本民雄さん

「旅 冬号へのお便り」

スペイン旅行をされたそうですね？

スペインガルシア地方の食べ物は、おいしかったですか？ 私はスペインと言えば、フラメンコと闘牛を思い出します。

話は変わりますが、京丹後市立網野図書館で視覚障害者の為の企画イベント「大人の耳から読書」で、モンゴルの伝統楽器「馬頭琴」とホーミーを聴きました。モンゴルの民話、「スーホの白い馬」の朗読もされました。

神戸市内で「馬頭琴」を弾ける人は居られないのですか？また、ホーミーを生で聴かれたことはありますか？

松本民雄さん

いつも情報を聴かせていただきありがとうございます。

私は、学生の頃に色々なところへ、修学旅行に連れて行ってもらいました。

佐渡へ行った時のこと、東北地方に行った時のことが忘れられません。

岩手県の平泉に行った時大雨にたたられたこと、「小岩井農場」に行った時、ジンギスカン鍋をお腹いっぱい食べた事、秋田県のきりたんぼを始めて食べておいしかったことなどお便りしてくださいました。

花時計 12月号テープと一緒に送られてきました

井上至雄さん

「花時計 12月号の感想」

ありがとうございました。花時計でアテネからイスタンブールのレポート、ギリシャからトルコまで海峡をひょいと越えるお隣同士の国なのに3000kmのバス旅と言うのは、どんなだったでしょう。北へマケドニア、ブルガリアと行かれ、さあそれからどう巡行されたのでしょうか。

短い番組なので途中を省略してあるのですが、聞くことのできなかつた国々のことがもっと知りたいと思いました

鈴木美智子さん

「花時計 1月号」

お正月の黒豆に「ちょろぎ」とかおっしゃっていましたが、初めて聞きました。二つだけを入れて炊くというのも初めて知りました。

私は富山県に生まれ、実家や石川県もそうですが、黒豆に勝栗を戻して、こんにゃく、人参、ゴボウ、と五品を炊いて、一袋炊いてもたくさんになるので、お正月に来た人におすそ分けしたりしていました。

そういう黒豆の煮方があったのだなと初めて知り、地方によって違うのかなと聞かせていただきました。楽しいテープありがとうございました

牧野まりえさん

「花時計 1月号」

学生時代を思い出した内容、万葉集の歌、最後の授業、ローレライに、とても心ひかれました。紙芝居の朗読劇も楽しかったです。

ありがとうございました



花時計 プログラム

花時計 1月号 「こすもす」

A 面

- ①「生きる」 谷川俊太郎
- ②「おせいさん気まま語り」 田辺聖子
- ③「百人一酒」より 俵 万智
- ④暮らしの手帳 すてきなあなたより

B 面

- ⑤紙芝居 おおわらい落語劇場「さぎとり」
- ⑥河合和子の旅だより「ライン河の船旅2」
- ⑦新しい単行図書のご案内

花時計 3月号 「ともしび」

A 面

- ①パンフルートの魅力 奏者 内藤 智
- ②「京町家の四季」より 杉本節子著

B 面

- ③「世界のなべ」いつもと違うご馳走レシピ厳選 29 より 服部直美著
- ④エッセイ「ボクの名前はグレ次男坊？」
- ⑤新しい図書のご案内
- ⑥リスナーお便り

花時計 2月号 「あかりの会」

A 面

- ①健康講座 「関節痛」日赤ドクター伊藤康夫
- ②カラオケとイグ・ノーベル賞
- ③リスナーお便り
- ④新刊のお知らせ

B 面

- ⑤平清盛と大輪田泊 田辺真人 園田学園女子
大名譽教授
- ⑥詩の朗読と音楽

花時計 4月号 「ことばの花束」

①ワシントン桜物語

②いのち二つ

③津軽を愛するシャンソン歌手 秋田漣

④インスタントラーメン発明記念館を訪ねて

⑤実家なのにメロンを出された還暦の母に

⑥お知らせ



2012 年度担当月

5月号	はあもにい	9月号	ともしび
6月号	YWCA	10月号	ことばの花束
7月号	こすもす	11月号	はあもにい
8月号	あかりの会	12月号	YWCA